



平成27年度亀山市当初予算案について

本市は、本年1月11日に市制施行10周年を迎え、次なるステージへ新たな一歩を踏み出しました。

平成27年度予算については、本市の持続的成長と市民の暮らしの質の向上を目指し、第1次総合計画の実現に向けて後期基本計画を着実に進める予算としました。

一般会計当初予算は、204億250万円で、前年度に比べ2億3,730万円の減、率にして1.1%の減となりました。

歳入については、市税は、固定資産税の落ち込みにより、前年度当初予算より5億5,960万円の減、率にして5.3%減の100億9,300万円を計上しました。また地方交付税については、市税の減収に伴う普通交付税の増などにより、4億500万円増の17億2,100万円を計上しました。

次に歳出について、平成27年度に取り組む主な事業は、まちの魅力や価値を高めるための亀山駅周辺市街地再開発推進計画策定事業、また4月からスタートする子ども・子育て支援事業計画の推進を図る事業を進めるとともに、教育環境の整備として中部中学校クラブハウス建設事業を実施してまいります。一方で、関宿重伝建30周年記念事業として、20年に一度となる関宿東の追分の鳥居建替えを行うとともに、5月30日に開催されるお木曳き行事に対し支援してまいります。また、在宅医療連携システム「かめやまホームケアネット」の本格実施など地域包括ケアシステムの構築に取り組んでまいります。

なお、新たに見直した平成27年度から平成31年度までの中期財政見通しにおいては、現行の行政水準を維持した場合、今後5年間で約55億円の財源不足が生じる見込みとなり、将来の財政運営は極めて困難なものとなることが予想されます。そのため、第2次行財政改革大綱による、更なる行財政改革に取り組むことで財政運営の健全性を確保し、持続可能な行財政運営を確立してまいります。